

# 手術中の技を体験

オープンラボ新聞



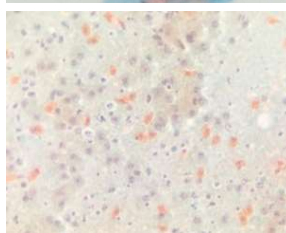
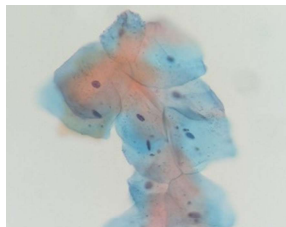
OPEN LABO.  
ショート動画



発行人  
StudioNoguchi

## 実験行程表

1. 塗抹：細胞をガラス版に塗り付ける
2. 固定：細胞をガラス版に定着させます
3. 染色：細胞に色をつけます
4. 封入：細胞を密封します
5. 観察：細胞が正常か異常か確認します



2025年11月22日（日）オープンラボ11月の部が開催された。「細胞に色々な色を付けて観察しよう！」の担当は危機管理学部保健医療学科の池上教授だ。普段は臨床検査技師を目指す学生の教育・研究を行っている。本日は、手術中に用いられる手法で細胞の標本づくりを行った。

なお、今回のオープンラボでは、実験調査員として薬学部の野口准教授が参加した。

## 実験調査員所感

「楽しかった！」90分の実験講座を終えたときの率直な感想です。私は化学系の研究を行ってまます。細胞を扱ったことはありません。研究室内の設備も違えば、匂いも違う。扱うものが変われば、注意点も違う。すべてが新鮮でした。

今回は口の中と鶏レバーの細胞を使った標本づくりと顕微鏡による細胞の観察です。説明を聞き、解釈し、実行する。操作を忘れる、参加者と相談する。観察する、結果を確認する、納得する。どの工程も参加するから得られる貴重な体験だと感じました。



作製した標本は  
今日のお土産です





口の中の細胞は、オレンジ・レッド・ブルーに染まる。その色は細胞のあった場所に由来する。小学生の参加者はブルー、大人の参加者はオレンジとレッドの細胞が多かった。また、鳥のレバーは細胞が非常に小さかった。

千葉科学大学のスペシャリストがおくる体験学習  
**OPEN LABO. テーマ紹介**

分野：看護

**「あなたもプロナース！  
安全で心地よいベッドメイキングと  
持ち上げない移動介助」**

担当：富樫千秋、松岡由美子（看護学科）

開催日 12月21日(日)  
時間 13:00-14:30  
場所 看護学部棟1階(集合)  
定員 20名



看護師はさまざまな医療スタッフの中でも、患者さんにとって最も身近な存在です。患者さんや家族の生活に関心を寄せ、苦痛、心配、不安などを取り除き、回復しやすい環境を整え、その人らしい暮らしを支援します。

ベッドは患者さんにとって眠るだけのものではなく、治療の場であり、生活の場でもあります。患者さんのための安全で心地よいベッドの作り方を体験しましょう！

また、人のからだは思っているより重いもの。患者さんの身体を動かすにもコツがあります。持ち上げない楽々移動方法を体験しましょう！

体験をとおして、ベッドメイクと移動介助のコツをつかみ  
ナースになった気持ちを体験しましょう！



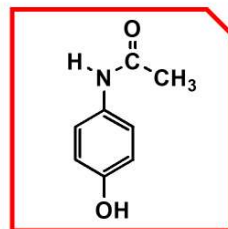
## 千葉科学大学のスペシャリストがおくる体験学習 OPEN LABO. テーマ紹介

分野：化学

## あの白い粉の正体は？ その4

担当：野口拓也（薬学科）

開催日 1月11日(日)  
時 間 13:00-14:30  
場 所 薬学部棟1階(集合)  
定 員 10名



**あの白い粉の正体シリーズ**では、「さまざまな方法」で白い粉の中身を探ってきました。最終回は、医薬品の有効成分を取り出すという実験を行います。

参加者全員にアセトアミノフェンを有効成分とする医薬品を配布します。下記の6段階の操作で医薬品からアセトアミノフェンを取り出そう！

### ＜6段階の操作＞

- 1 錠剤の粉碎
- 2 有効成分の抽出
- 3 有効成分の単離
- 4 溶媒の留去
- 5 再結晶による精製
- 6 有効成分の同定



乳剤と乳剤を使用し、医薬品を初め得る（1）。有効成分が酢酸アスピリンで抽出される（2）。酢酸アスピリンは抽出液から酢酸アスピリンメソフェン以外の無機物と有機物を分離するで、抽出、乾燥されたアスピリンメソフェンと酢酸アスピリンメソフェンを分離液から分離する（3）。酢酸アスピリンメソフェンが抽出した抽出液を乾燥してローリーエバポレーター（大気圧の乾燥）を用いて、酢酸アスピリンメソフェンに乾燥させる（4）。乾燥した酢酸アスピリンメソフェンが、アスピリンメソフェンに乾燥させる（5）。酢酸アスピリンメソフェンが乾燥した抽出液を乾燥して乾燥させる（6）。乾燥後は、乾燥した抽出液を乾燥して、医薬品から乾燥した酢酸アスピリンメソフェンと乾燥した抽出液を乾燥させる（4a）。